

●▲ みねのぶ



農家実習で種蒔き作業を行う新採用職員2名（加藤彰彦さん宅 4月20日）

■発行日/平成30年5月1日/No.1393号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

香りの畦みちハーブ米

生産部会の総会開催する

3月28日、JA三階会議室において、香りの畦みちハーブ米生産部会の総会が開催されました。

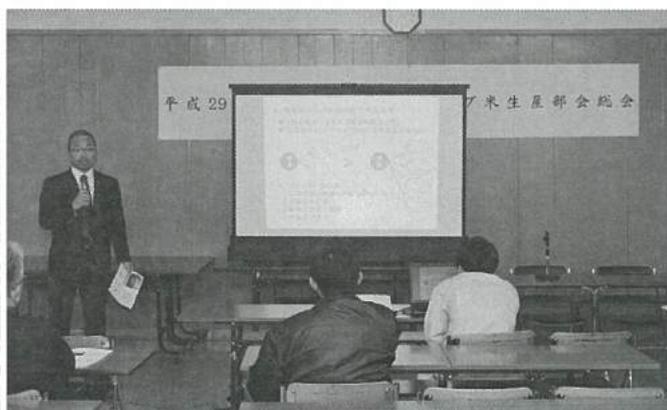
郷野部会長の挨拶から始まり、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画案及び栽培基準のイエスクリーン肥料選定及び薬剤統一基準が原案通り承認されました。

総会終了後は、空知農業改良普及センター地域第二係長の二俣直人氏から平成30年度の良品質米生産に向けて、低タンパク米の生産



挨拶をする郷野部会長

と要因、病害虫の発生と防除対応、新品種について講習があり、参加者からの質問等も上がり、活発な講習会となりました。



農業改良普及センターの二俣係長が良質米生産に向けて講習

第3回(4月定例)理事会開催

4月25日開催の第3回(4月定例)理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 峰延農協玄米ばら集出荷調整施設色彩選別機増設工事について
2. 平成30年度農家経済再建対策組合員及び債権管理組合員の

選定について

3. 平成29事業年度業務報告書の作成・提出について
4. 諸規程等の一部改正について

◇協議事項◇

1. 大豆乾燥調製貯蔵施設新設に係る建設委員会の設立について

一報徳一

大学の三綱領とは

尊徳先生が熟読していた儒教の書の一つが、「大学」です。その三綱領となるのが、「大学の道は、明徳を明らかにするに在り。民に親しむに在り。至善に止まるに在り」です。現代訳

学び大人になるためには、自分が生まれつき持っている素晴らしい徳を発現すること。自分一個の修養だけに止まらず、それを人にも及ぼして、それぞれの徳を実現するように導くこと。以上の二つのことが到達した最高の状態を、常に維持するように努めることである。

尊徳先生は、この「大学の三綱領」のことを、こう語っている。

孔子は、「大学の道は、明徳を明らかにするに在り。民を新にするに在り。至善に止まるに在り。」と言った。これを田畑にたとえれば、明徳が物欲に覆われているのは、荒地ができたようなものであり、明徳を明らかにするのは、荒地をひらくようなものである。そしてその産米を得たならば、その半ばを食って半ばを譲り、繰り返し開墾して荒地を起こさせていく。それが「民を新にする」ということである。そして、この開墾と推譲の道は、万世までも変わるべきでない。それが「至善に止まる」である。(語録一九一)

善に止まるに在り」です。現代訳にすると、知徳を兼ね備えて世によい影響を及ぼすような立派な人物、すなわち大人(たいじん)となる学問の道筋は、先ず生まれながら与えられている明徳を発現(明らかに)するところにある。(明らかに)するところにある。その明徳が発現されると、自ら通ずる心の一体感が生じ、誰とでも親しむようになる。さらに判断が正しくなり、常に道理にかなった行為ができるようになる。もう少しわかりやすくいうと、大学を

5月の農協常会は休会します

峰延農協青年部ポプラ会

第54回通常総会終了

3月29日、JA三階会議室において峰延農協青年部ポプラ会第54回通常総会が開催され、部員22名が出席しました。渡辺会長から開会の挨拶、JA森川組合長の来賓祝辞に続いて議長に佐藤勝彦さんが選出され、平成29年度事業報告並びに収支決算、平成30年度事業計画並びに収支予算、平成30年度の会員登録等が審議され、いずれも原案通り承認されました。最後に役員改選が行われ、昨年同様の役員が本年も引き続き役員に選任されました。(敬省略)

- 会長 渡辺 慶太郎
- 副会長 白石 一馬
- 会計 佐々木 大祐



挨拶をする渡辺会長

新規就農後継者1人

4月常会で紹介し激励

本年度、当JA管内で新規に農業に従事する方は1人で、4月2日に開催した常会で農事組合長の皆さんに紹介されました。

森川組合長から「新しく農業後継者となり歓迎します。厳しい農業情勢ですが共に頑張りましょう。」と激励を受け、北農5連合会の会長連名の激励状と記念品の伝達と当JAから記念品が贈呈されました。

新規就農後継者を紹介します。



組合長から受け取る代理出席のご主人摩利雄さん

監事 星野 功平
高田 康平

齋藤五月さん

昭和61年5月5日生

経営者



河野 潔さん
(美唄市光珠内町 三区)

峰延農民協議会が

第57回定期総会開催する

4月2日、JA三階会議室において峰延農民協議会の第57回定期総会が開催され、盟友60名が出席しました。

総会では、「国益を損なう国際貿易交渉対策に総力を結集し、北海道農業を死守しよう」「全盟友の英知を結集し、農業改革」に生産現場の声を反映させよう」「農業の有する多面的機能の価値を改めて求め、適正な評価を実現しよう」「消費者との連携を図り、安心して暮らせる農村社会を確立しよう」の4つをスローガンに掲げ、高田勝彦常任委員の開会宣言で始まりました。

池上委員長の挨拶に続いて、空知農民連合の長谷書記長、当JA森川組合長、神谷裕衆議院議員、野原薫道議会議員の四氏から祝辞がありました。

議長に田野中孝行氏(光珠内中

央)を選任し議事に入り、平成29年度の運動経過報告と会計報告、平成30年度の運動方針案と会計収支予算案、賦課金等が提案され承認決定されました。

今回は任期満了に伴う役員改選が行われ、選任された役員は次の通りです。(敬称略)

- ▽委員長 池上 昭彦(再)
- ▽副委員長 天池 直木(再)
- ▽書記長 森川 雅夫(新)
- ▽書記次長 今橋健太郎(新)
- ▽常任委員 村山 幸男(再)
- 井上 隆洋(新)
- 岸本 保晴(再)
- 藤井 聡志(新)
- 今西 徹(再)
- 角 強(新)
- 梶 秀美(新)
- 大内 基晴(新)
- 有ノ木正男(再)
- 田中 輝雄(再)
- 中澤 裕幸(新)

▽監事

おくやみ申し上げます

- 北野タケ子さん (80歳) 3月27日
- 岩見沢市峰延町258-5
- 武田キノエさん (97歳) 4月1日
- 美唄市光珠内町拓北
- 吉倉 武雄さん (89歳) 4月2日
- 美唄市峰延町本町

「JA女性部大豆加工サークルが、乳和食料理講習会を開催」

JAみねのぶ女性部（吉村俊子部長）の大豆加工サークルが3月23日、峰延福祉会館で乳和食の料理講習会を開催しました。

今回はサークル会員9名が集まり、講師に峰樺の前川和子さんと藤井悦子さんを招いて、5品目を作りました。

「乳和食」とは、牛乳を出汁として使うことで調味料をのぼす・割るといった方法で減塩が出来ること、牛乳のコクと旨味が出るので風味も変わらず、牛乳の栄養も一緒に摂れることから、近年、注目が集まっている料理方法です。

最初に鍋に牛乳を入れて火にかけて、80〜90℃に温まったら米酢を投入してかき混ぜていくと牛乳が分離して「乳清」が出来、同時に分離して出来たものを冷ましておき、布巾で漉すと「カッテージチーズ」が出来上がります。

何人かに分かれて作業分担し、この「乳清」を使って炊き上げたご飯をすし飯にして『さけのミルクちらし寿司』、『カッテージチーズ』をねぎや卵白、片栗粉などを混ぜ合わせてこんがり揚げた



カッテージチーズを混ぜ合わせてがんとどきの準備

『ふわふわがんとどき』のほか、牛乳を加えて一緒に煮込む『かぼちゃのミルクそぼろ煮』、『スナックプえんどうと玉ねぎのミルクみそ汁』、デザートに『ジョアで作るヨーグルトババロア』を完成させました。

入学・進学シーズン目前だったので、ちらし寿司の作り方はサークルメンバーも興味津々でした。

出来上がった後は全員で試食を行い、「牛乳が苦手な人もこれなら食べられそう」といった感想や「乳清の保管方法はどうすればいい?」、「がんもどきには他にどんな具が使える?」等の意見が出され今後の講習会で実施することになりました。

29年度の大豆加工サークルの活

動は今回をもって終了となりましたが、来年もまた農閑期に実施する予定です。興味のあるJAみねのぶ管内の女性の皆様、来年一緒に活動しませんか?年齢は問いませんので、ぜひご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】

JAみねのぶ女性部事務局
販売企画課 阿部 ☎67-2115



いちご味のジョアを使ってデザート作り

小林篤一翁顕彰公園の冬囲い撤去

小林篤一翁顕彰公園の冬囲いは作業を委託した美唄市シルバー人材センターの作業員が4月17日に撤去しました。

これからは、季節の移り変わりに応じて、桜、ツツジ等と花が咲

いていきます。ぜひ公園を訪れてみてください。



ゴールデンウィーク中の
交通事故対応

ゴールデンウィーク中に万一交通事故に遭った時は必ずお近くの警察に届出を行い、JA共済事故受付センターに連絡してください。

JA共済事故受付センター
☎0120-258-931
フリーダイヤル【24時間・365日】
(JAみねのぶ 金融課)

**年金友の会
第42回代議員総会開催**

4月18日、JA三階会議室において峰延農協年金友の会の第42回代議員総会が、代議員30名が出席して開催されました。

中西会長の挨拶に続いて、森川組合長が来賓挨拶を述べました。中西会長は「パークゴルフ大会、ゲートボール大会、スポーツ大会、研修旅行等の行事を通じて、皆さまの融和と健康増進、心身の育成が年金友の会の目的と考えているので大いに参加してもらいたい。」と述べました。

議長に前川 進氏（峰樺長生会）



挨拶をする中西会長

を選出し、平成29年度事業報告・収支決算報告、平成30年度事業計画案並びに収支予算案について審議され、原案通り承認決定されました。

今回は任期満了に伴う役員改選が行われ、選任された役員は次の通りです。（敬称略）

- ▽会長 吉田 栄（新）
- ▽副会長 清水 尚（新）
- 兼 寺門 功（再）
- ▽会計 新谷俊子（新）
- ▽事務局長 兼 吉田安蔵（新）
- 寺門 功（新）
- ▽監事 内田敏一（再）
- 大内 標（新）



新役員の皆さん

新採用職員が農家実習を行う

本年採用した職員6名が4月20日から24日の3日間（土日除く）、農家実習を行いました。実習先は、当JAの役員宅で、浅香邦彦さん（代表監事）、加藤彰彦さん（理事）、吉村忠さん（理事）のお宅です。本年採用の6名が2名ずつ3軒に分かれ、いずれもこの時期の農作業の種蒔きや育苗箱並べ等を行いました。

この実習は、農協職員として農家の生活を肌で感じ、農業に対する理解を深める目的で行いました。

機構改革及び人事異動発令

4月1日付で、機構改革を行い次の通り定期人事異動を発令しました。

1. 機構改革

- ・金融部門の体制強化のため、貯金共済課と融資課を統合し金融課とします。
- ・販売事業強化のため、営農販売課から集荷施設部門を分離し農業施設課を設置します。

- ・JA全体の管理部門として経営管理室を設置し、監査室を廃止して同室内に内部監査部門を配置します。

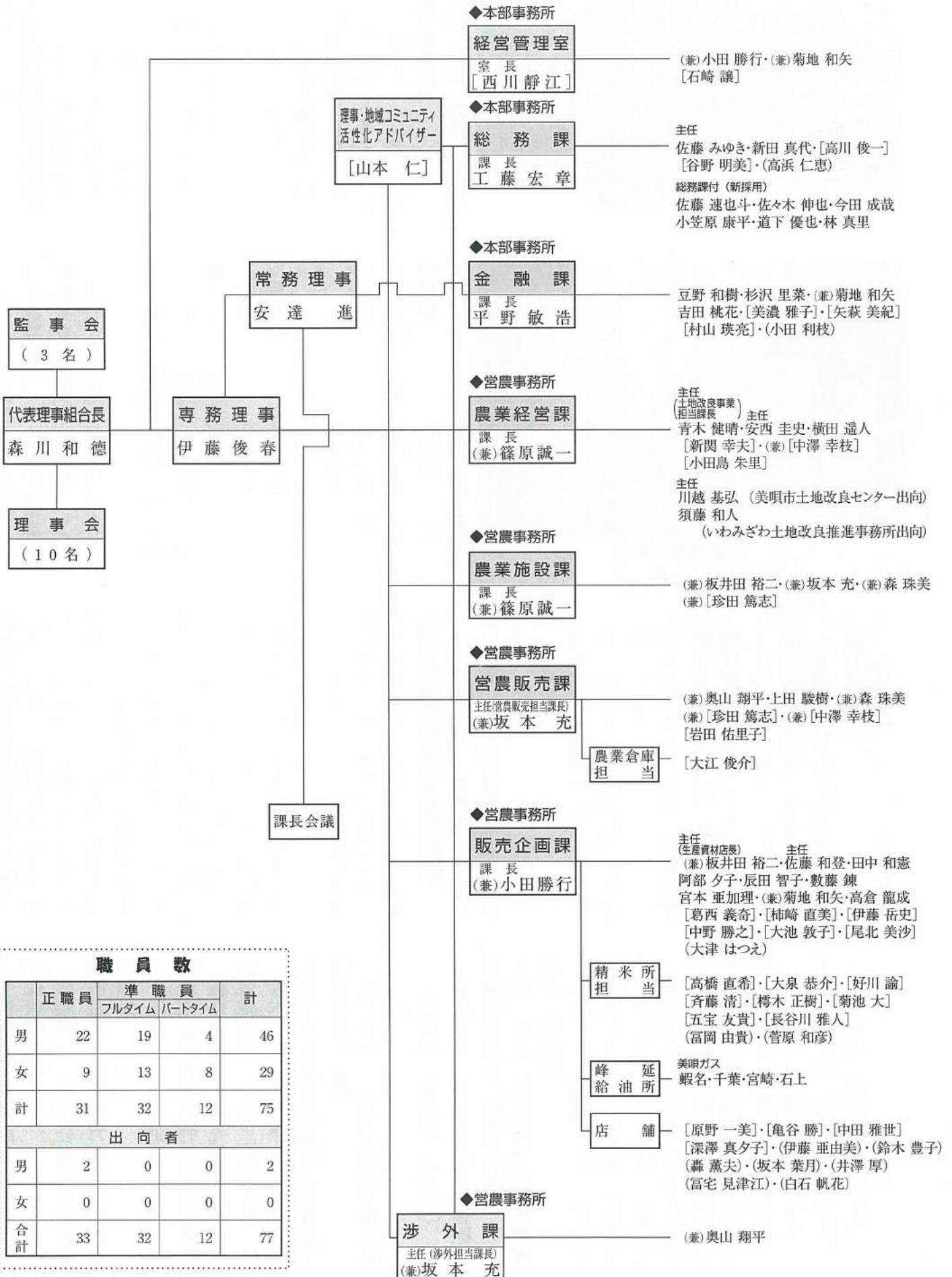
2. 人事異動（ ）は前職名

- ・平野敏浩 金融課長（貯金共済課長兼融資課長）
- ・篠原誠一 農業経営課長兼農業施設課長（農業経営課長兼営農販売課長）
- ・小田勝行 販売企画課長兼経営管理室（販売企画課長兼監査室）
- ・板井田裕二 販売企画課主任兼農業施設課（販売企画課主任）
- ・坂本 充 渉外課主任兼営農販売課主任兼農業施設課（渉外課主任兼営農販売課）
- ・佐藤和登 販売企画課主任（販売企画課）
- ・豆野和樹 金融課（融資職）
- ・菊地和矢 販売企画課兼金融課兼経営管理室（販売企画課）
- ・森 珠美 営農販売課兼農業施設課（総務課）
- ・新田真代 総務課（販売企画課）
- ・辰田智子 販売企画課（総務課）
- ・杉沢里菜 金融課（貯金共済課）
- ・吉田桃花 金融課（貯金共済課）
- ・佐藤速也斗 総務課付（新採用）
- ・小笠原康平 総務課付（新採用）
- ・今田成哉 総務課付（新採用）
- ・道下優也 総務課付（新採用）
- ・佐々木伸也 総務課付（新採用）
- ・林 真里 総務課付（新採用）

JAみねのぶ 経営管理組織図

(平成30年 4月 1日現在)

[] 嘱託・準職員
(フルタイム職員/社会保険)
() パートタイム職員



職員数

	正職員	準職員		計
		フルタイム	パートタイム	
男	22	19	4	46
女	9	13	8	29
計	31	32	12	75
出向者				
男	2	0	0	2
女	0	0	0	0
合計	33	32	12	77

～ 組 合 員 資 格 等 の 確 認 に つ い て ～

平素より、当JAの事業運営にご理解、ご協力、ご利用を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年2月に「農業協同組合等向けの総合的な監督指針」(農林水産省)が施行され、定期的な組合員資格の確認が義務付けられ、併せて当JAの定款第14条(資格変動の申出)により組合員資格に変動等があった場合は、その旨を届け出ていただくことになっております。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号などの届出事項に変更・修正があった場合並びに出資金の相続の必要が生じた場合は、変更手続き等が必要となりますので、お手数ですが当JA総務課までお申し出いただきますようお願いいたします。申し出の際には、本人確認が出来る公的書類(住民票・自動車運転免許証・健康保険証等)、印鑑をご持参のうえ総務課までお越し下さいますようお願い申し上げます。

なお、現在の組合員資格については先般送付した「平成29年度 出資配当金・利用高配当計算明細書」に記載されておりますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】 JAみねのぶ 総務課 電話:0126-67-2111 ファックス:0126-67-2793

【JAみねのぶの組合員資格条件(定款第12条の抜粋要約)】

＝正組合員資格＝

- 30㎡以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所またはその経営に係る土地または施設が当この組合の地区内にあるもの
- 1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所またはその経営に係る土地または施設がこの組合の地区内にあるもの
- 農業を営む法人であって、その住所またはその経営に係る土地または施設がこの組合の地区内にあるもの

＝准組合員資格＝

- 当JAの地区内に住所があり、当JAの事業を利用することが適当と認められる個人
- 勤務地が当JAの地区内にあり、資金の借入、貯金・定期積金、生産資材・生活物資の購入、共済加入のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 住所が当JAの地区外にあり、生産資材・生活物資の購入、生産する物資の運搬・加工・貯蔵・販売のいずれかを1年以上継続利用する個人
- 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する団体であって、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの

【JAみねのぶの地区(定款第3条の抜粋)】

美唄市のうち峰延、光珠内、豊葦、上美唄、岩見沢市のうち峰延町、岡山町、大願町、北村中小屋、三笠市のうち岡山、川内、達布

◎正組合員から准組合員へ資格変更が必要となる方

耕作面積に異動があり、耕作する面積が30㎡未満となり、さらに1年のうち農業に従事する日数が90日未満になった方

◎准組合員から正組合員へ資格変更が必要となる方

1. 耕作面積に異動があり、現在の耕作する面積が30㎡以上になる方
2. 耕作面積は30㎡未満であるが、1年のうち農業に従事する日数が90日以上になる方

◎組合員本人の死亡

相続による名義変更、もしくは脱退手続きが必要となります。

◎その他、変更があった場合

1. 結婚等で姓が変わった方
2. 住所を変更された方
3. 電話番号を変更された方

【正組合員と准組合員のちがい】

JAには、正組合員のほか准組合員制度があり、農業者以外でも出資を払い込めば、准組合員としてJAに加入できます。准組合員はJAの各事業を正組合員と同じように利用することが出来ますが、総会での議決権などJAの運営に係る権利が認められていません。正組合員と准組合員の違いはこの点だけです。

近年は農家戸数の減少により正組合員が減少し准組合員が増加、さらに利便性から地域で准組合員として加入する方が増えて地域に密着した協同組合となっています。

ゴールデンウィーク中の金融店舗・ATMの営業時間

JAみねのぶ金融課 ☎0126-67-2114

月 日・曜日	4 月			5 月						
	28日 土	29日 日	30日 月・祝	1日 火	2日 水	3日 木・祝	4日 金・祝	5日 土・祝	6日 日	7日 月
金融店舗	休業	休業	休業	8:30～ 16:00	8:30～ 16:00	休業	休業	休業	休業	8:30～ 16:00
A T M	9:00～ 18:30	9:00～ 18:30	休業	8:30～ 18:30	8:30～ 18:30	休業	休業	休業	9:00～ 18:30	8:30～ 18:30

市役所からのお知らせ 農地中間管理事業に係る農地借受希望者を募集します

農地中間管理事業により農地借受を希望される方は、あらかじめ登録手続きが必要となりますので、次の内容を確認のうえ、応募願います。募集は、年2回実施しております。

○応募方法 「農用地等の借受希望申出書」に必要な事項を記入のうえ、郵送又は持参により借受希望される区域の市役所担当課へ提出願います(平成28年5月以降に応募された方の提出は不要)。申出書及び説明資料は、各市役所で配布のほか、各市のホームページからもダウンロードできます。また、JAみねのぶ農業経営課にも配置しております。

○募集期間 平成30年5月1日(火)～5月30日(水)まで(郵送の場合、当日消印有効)

○提出先・お問い合わせ先

- ・〒072-8660 美唄市西3条南1丁目1番1号 美唄市役所 農政課農政係(電話:0126-63-0114)
- ・〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号 岩見沢市役所 農務課農業経営係(電話:0126-23-4111)
- ・〒068-2192 三笠市幸町2番地 三笠市役所 農林課農林係(電話:01267-2-3996)

JAグループ通信 No.22

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、
組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JAグループ北海道が組織する北海道農協政治連盟が、次期参議院選全国比例区での組織代表候補として、黒田栄継氏を全国農政連に推薦しました。

黒田氏は芽室町で畑作経営を営んでおり、平成26年度に全青協会長を務め、組織活動でつちかかった判断力・行動力と全国的な知名度があります。農政課題が山積する中、現役農業者の代表を国政に送り、世論形成の核となることが重要と考えています。

黒田氏と現職山田としお氏を含め、3名での予備選挙が6月上旬までに実施されます。全力で取り組みますのでご支援・ご協力をお願いします。



JA北海道信連

JAバンクでは、子どもたちが食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,079校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会
教育長へ贈呈

ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は、2018年度の新体制について記者発表を行い、長渡新監督のもと「覚悟と挑戦」のスローガンを掲げ



新たなスタートを切りました。菊地優子選手を主将に、寺島優奈、不破亜莉珠の新人2選手を加えた10名で全日本実業団女子駅伝や個人種目での目標達成に挑みます。長渡新監督は「身の引き締まる思い。新しい部の歴史に名を残せるような結果を今シーズンから残していけるよう精進したい」と抱負を語りました。

JA共済連北海道

JA共済連では、子ども共済の資料請求キャンペーンを実施しています。子ども共済は、お子さま・お孫さまの学資金を計画的に準備でき、給付率は業界トップクラスです。また、2017年度に「マザーズセレクション大賞」を受賞しております。

今年度は、資料請求をされた方先着60,000名様に、アンパンマンお食事エプロンをプレゼントしています。詳細はホームページをご覧ください。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

今年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

